



SPM通信

*** 2009年 3月号 ***

March 24, 2009



MANAVA SUITE RESORT TAHITI

* マナバ・スイート・リゾート・タヒチ *
日本人ゲストリレーション : 田之上 愉香 (たのうえ ゆか)



マナバ・スイート・リゾート・タヒチ、3月1日にオープン致しました。

今月はホテルのお部屋についてご紹介します。
当ホテルにはラグーンビューとガーデンビューのお部屋があります。どちらも良い眺めですが、ラグーン側のお部屋からは正面に隣のモーレア島がとてもきれいに見えます。雲で頂上が覆われている時、島全体がシルエットのように見える時などなど。その日、時間によって全く違う景色をご覧いただけます。太陽がモーレア島のすぐ横に沈むので、サンセット時にモーレア島を眺めていただくと、太陽が沈んでいくにつれて変わる空の色、ピンクや赤色に変わる雲の色は格別です。

お部屋の種類は大きく分けて、スタジオ、スイート、デュプレックス、スイートマナバの4種類があります。スタジオはベッドルーム・バス(バスタブ付)・トイレ・キッチン・テラスがあるお部屋。これにリビングルームが付いたものがスイート。デュプレックスは二階構造になっていて下の階にベッドルーム・トイレ・キッチンがあり、上の階にバス・ベッドルームがあります。マナバスイートというのはラグーン側の最上階にあり、他のお部屋より広い造りになっています。

そして全てのお部屋にキッチンが付いています。冷蔵庫や電子レンジ、電気コンロは勿論の事、鍋や調理用具、食器などのご用意もありますので、外食で疲れた胃袋をここで癒していただければと思います。

どのお部屋もインテリアには手彫りの TIKI や真珠貝などが使われた家具がなど、ポリネシアの雰囲気漂うお部屋です。

これからも SPM 通信を通じて、皆様にホテルのご紹介をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



Moorea Pearl Resort & Spa

* モーレア・パール・リゾート&スパ*
日本人ゲストリレーション : 比嘉(ひが) 歩美



今月はモーレアパールのティキ特集です！

ホテルをご紹介する際、皆様に必ずお伝えする言葉があります。それは“ローカルスタイル”です。ホテルにはティキがたくさんいます。“ティキ”はモーレアパールの象徴なのです。ティキは昔の兵士だというタヒチアンもいますが、一般的にはお守りとしてみる人が多いようです。

まず玄関でお客様をお迎えするティキ。記念に一緒に写真を撮るお客様がたくさんいらっしゃいます。



それからレセプションのアクアリウムの上にティキの目が・・・お客様をお守りしています。



プールの傍にもティキ。



ガーデンにもティキ。



レストランにも・・・



お手洗いの横にも。



そしてお部屋にもティキがあります。

モーレアパールにいらした際にティキ達と記念撮影をされてはいかがでしょう。



MANIHI Pearl Beach Resort

* マニヒ・パール・ビーチ・リゾート&スパ*
日本人ゲストリレーション：ホカフウ さつき



4月からはあらためてホテルの情報を皆様にお伝えいたします。今月は勝手ながら私のプライベート手記の締め月とさせていただきます。

MANIHI に来て9年が経ち、タヒチアの友達から色々な事を教えていただき習得しました。中でも目から鱗だったのは、子供(赤ちゃん)が病気になった時に使うタヒチアの薬です。これは全て身近にある天然の植物を使って作られます。娘美蘭は日本人とマルキジアン(タヒチアン)とのハーフですから、日本では聞いた事もない赤ちゃん特有の症状が出る事がよくあり、そんな時 KANA や子守の方が椰子の葉や草木 花等を使って作ってくれる薬や薬湯は抜群の効果がありました。椰子の葉やタマヌの実、ティアレタヒチ、偉大な植物達です。またお腹の調子がよくない時もマンゴやパパイヤなどを食べて薬を使わずに回復します。

特に椰子の葉は本当に万能で、この葉っぱで様々な物を編んで作る事も覚えました。
お皿や四角い籠 丸い籠 帽子 デコレーション用のパイナップル お魚など。。。
KERE といった椰子の木の皮はタヒチアンダンスの衣装にも使えますし、雨が降った時でも椰子の葉の下にいれば雨には濡れませんし、もちろん強い日差しもしのげます。
椰子の木の繊維を編んだものと真珠の組み合わせのアクセサリーも人気があります。

また椰子の葉同様に重宝するのが、パンダナス(たこの木)です。
この葉っぱは MANIHI のバンガローの屋根に使われていますし、お店で売られている帽子や一般的に売られている籠バック、アクセサリーにも使われます。この白い花はとても芳香が強いで、花びらを1枚箆筒の中に入れておくと芳香剤として使えます。

この花はタヒチ語では HINA と呼ばれ、余談ですが、義理の母が私に授けてくれたタヒチアンの名前はこの花にちなみ TEPUA HINAKO です。HINAKO なんて日本語の名前のようですね。
KANA のマルケサス名は TAKAO、剣は MOEAKI で、まるで日本語の名前。(イントネーションは違いますが) タヒチアンの名前は幾つかの意味をくっつけた名前です。
美蘭は TETUA VAI PUTOKA(水の神様のほら貝)、剣は MOEAKI(空の上で眠る)という意味があります。ただしこの2人の名前はとてもよくあるように大好きな家族の名前を頂戴したもので、美蘭は KANA の祖母、剣は KANA の父の名前を頂戴したのです。
タヒチアンではパパと息子、ママと娘が同名の方達がとても沢山います。これも伝統のようです。

こちらでは学校行事があるたびに、子供たちは皆とても素敵な花冠やレイを着けてきます。
というわけで 私の 2009 年の目標は “花冠が編めるようになる ”です。

